

憲法改悪を許さない全国署名  
各地でこんな取り組みが ③⑤ 2021年12月30日

9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 メール [info@kaikenno.com](mailto:info@kaikenno.com) ☎03-3221-4668

「憲法改悪を許さない全国署名」スタート

- ◆ 「岸田改憲」STOP！世論と運動強化今こそ
- ◆ 「岸田改憲」— 「改憲4項目」掲げ明文改憲、敵基地攻撃能力保有、大軍拡予算で解釈改憲・9条じゅうりんの危険を対話で、署名で語ろう

各地の取り組みから

北海道 「憲法改正など望んでいない」が多数の声 札幌市西区

戦争させない札幌西区民の会は12月19日、札幌市西区の地下鉄琴似駅前「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけました。この日の行動は通算212回目。おなじみの横断幕「戦争は最大の人権侵害 9条改憲を許すな」、「まもろう憲法9条」ののぼりを掲げて宣伝しました。

次々と署名した人たちは、「殺し、殺される戦争なんてとんでもない」「いやですね。戦場には自分で行くだけでなく、若者に行けなんて冗談じゃない」「戦争しないと誓った日本が戦争する準備をするなんて何を考えているんだ」「辞めた安倍さんが岸田首相を裏で操って改憲を言わせているのか」などと語っていました。

厳寒のなかスタンディングで訴え 江別市

北海道江別市の憲法9条を考える実行委員会は12月19日、氷点下の中、国道沿いの大型店前で、2015年9月から開始し76回目となるスタンディングを取り組みました。20人が参加しました。

参加者は、「『敵基地攻撃能力』保有は戦争への道」「森友訴訟 税金1億円で真相隠す」などの横断幕やプラカードを掲げ、リレートークで訴えました。

「憲法改悪許さない全国署名」で対話弾む 札幌市北区

札幌市北区で活動する安保関連法・戦争の廃止を求める北区民の会は12月19日、宣伝行動を取り組み、「憲法改悪を許さない全国署名」の協力を呼びかけました。

宣伝では、乗山弥寿男北海道教育大学名誉教授らがマイクで訴えました。

自衛官の娘という30代女性が、「子どもたち、若い人たちのために、宣伝されている『Love&Peace』がいい」、60代女性も「戦争でいいことは一つもない、歴史から学ばないのか、戦争は人間がすることではない」と署名しました。20代女性は、「世界情勢に合わせ部分的な憲法の変更もありかと思うが、軍事費の増大で社会保障や生活の予算はどうなるか不安、なんとかしたい」と話していました。

## **青森** 草の根から憲法を守ろうと署名訴え 県九条の会

青森県九条の会は12月7日、青森市の新町商店街で「憲法改悪を許さない全国署名」をひろげようと街頭宣伝を行い訴えました。

臨時国会の所信表明演説で、岸田首相が憲法改正の国会と国民の議論の喚起を呼びかけたことについて、首相が改憲をよびかけるなどあってはならない、憲法は権力をしぼるべきものなどと参加者は抗議のリレートークを行い、「草の根から9条守ろうの声をあげよう」と署名の協力を訴えました。署名した市民からは岸田首相らの改憲発言に不安と怒りの声が寄せられました。

同会は11月30日には「憲法改悪を許さない全国署名」を初めて呼びかけた行動を同じ場所で行いました。この日の行動には14人が参加しました。呼びかけに、「前にも署名した」という市民にも、総選挙後の改憲の新しい危険な状況など署名の意義と内容を丁寧に知らせ協力を得ました。

### 「憲法改悪を許さない署名」を呼びかけ 青森県治安維持法同盟

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟青森県本部が呼びかけた「憲法改悪を許さない全国署名」の宣伝署名行動が12月21日、青森市の新町商店街で行われました。

行動では参加者が、「憲法改悪を許さない」のそろいのゼッケンをつけ、「ふたたび戦争と暗黒政治を許すな」の横断幕を掲げ、リレートークで署名の協力を呼びかけました。

### 参院選で改憲ストップ、署名の推進を 青森市、八戸市

青森市の青森駅前公園では青森県九条の会が12月19日、県九条の会などの15人のメンバーの参加で降り続く雪の中、宣伝しました。「市民の力で、戦争放棄の憲法9条改悪をやめさせよう」「憲法9条は世界の宝」のポスターを掲げ、スピーチでは「軍事費6兆円などとんでもない、税金は暮らし・社会保障に回せ。来年の参院選で憲法を守る議員を増やそう」などと訴えました。

八戸市では市の中心街で12月19日、戦争法廃止を求める三八連絡会の呼びかけで参加した21人がスタンディングアピールを行いました。訴えに立った中屋敷泰一事務局長は、岸田首相が改憲の意欲をたびたび示していること、自民党が「憲法改正実現本部」をつくるなど危険な体制もとって明文改憲に力を入れていること、敵基地攻撃能力の保有、軍事予算をGDP2%とする大軍拡を進めていることを警告、「憲法改悪を許さない全国署名」の取り組みを強め、戦争への道、改憲の動きを止めようと呼びかけました。

## **岩手** 戦争体験集第6集発行 発表懇談会 宮古市

岩手県宮古市の宮古・下関伊(しもへい)地域の戦争を記録する会が12月18日、宮古市で戦争体験集「戦争の時代を生きて」第6集の発表懇談会を開きました。懇談会には49人が参加しました。同体験集は2016年に第1集を発行、アジア太平洋戦争開戦から80年の今年の第6集までに90人が戦争体験を寄せています。

この日の懇談会では、沖縄戦での父親の戦死、捕鯨船が釜石沖で米軍潜水艦の攻撃によって乗組員だった2人の息子が死んだこと、津軽石駅で出征する息子が乗った列車を母親が叫びながら追いかけた姿を目撃したこと、などの体験が紹介されました。懇談会では全員で憲法9条を朗読、「青い山脈」の合唱を行い、9条改憲阻止の決意を確認しました。

### 「憲法を守ろう」「署名を草の根から」とデモ アクション岩手の会

9条改憲NO!全国市民アクション岩手の会は12月17日、岸田政権がねらう改憲発議阻止を掲げてデモ行進を行いました。今年最後のこの日の定例行動には80人が参加しました。

出発前の集会では岩手憲法共同センター、平和環境センター、県生協連の代表が、岸田政権の改憲前のめりの姿勢を批判、岸田政権から憲法を守ろうと訴え、岩手山での日米共同訓練、オスプレイの飛行を告発し、新しい「憲法改悪を許さない全国署名」の推進、2月の学習集会の成功を、などと呼びかけました。

**宮 城** 日米共同演習の告発に市民が注目 19日宣伝行動で 仙台市  
オールみやぎの会や宮城県内九条の会連絡会、戦争政策反対宮城県民連絡会など5団  
体から15人が参加して、年内最後の宣伝行動を仙台市中央通り商店街で展開しました。  
参加者は横断幕を掲げ、ピラを配布しました。ハンドマイクでは参加団体の代表ら  
が、「安倍政権下で強行された安保法制は菅、岸田内閣に引き継がれ、臨時国会では防衛  
費8000億円近い防衛費が含まれる補正予算となり、当初予算との総額で6兆円を超  
す」「県内の自衛隊霞目駐屯地や王城寺原演習場では日米共同訓練が行われ、オスプレイ  
が県内を縦横に飛び回り、米兵が仙台市内のホテルに120人も宿泊した」などとの告発  
に市民の注目が集まりました。

**「日本国憲法発布の記念碑」が話題 蔵王町矢附地区**

宮城県蔵王町の矢附（やづき）地区に「新憲法発布記念碑」が設置されていることが  
明らかになり町民の間で話題になっています。

この記念碑は、1946年11月3日の憲法公布の記念事業として、当時の円田（えん  
だ）村矢附地区に消防ポンプや電話を整備する事業とともに取り組まれ、多くの人たちの  
賛同や寄付金の運動で建立されたものと言われています。住民たちは、「(近くには戦死者  
の鎮魂碑もあり) 平和を守るためにはお上の言うことだけを聞いてはダメ」「(碑建立  
の賛同運動のように) 地域のコミュニティーと自治を強めることが大事」と語っていま  
す。

**山 形 渡辺治、浜矩子講演（憲法会議主催の憲法講座）を視聴 山形市**

9条の会山形市連絡会は12月20日山形市内で、憲法会議主催の「秋の憲法講座」を  
配信された記録を視聴しました。同講座は19日に東京都内でおこなわれたもので、渡辺  
治一橋大学名誉教授の講演「総選挙後の改憲をめぐる情勢と改憲阻止のたたかい」を、浜  
矩子同志社大学大学院教授の講演「総選挙後の経済運営～あるべき姿と恐るべき姿～」の  
記録です。

この日JR山形駅前で行われた**9条改憲NO！やまがた県民の会**が呼びかけた宣  
伝・署名行動に12人が参加し活動しました。

**千 葉 『武器見本市』STOP!』と宣伝 ママの会@ちば**

来年予定されている武器見本市に反対し、会場となる幕張メッセを貸し出さないように  
県知事に声を届けようと、**安保法制に反対するママの会@ちば**の51人は12月7日、千  
葉県庁前で宣伝しました。野党各党の県議らも参加しました。

宣伝では、「知事は市民の声を聞いて、コロナで延期ではなく中止の決断を」「武器売買  
は憲法の平和主義と相いれない」「武器の売買による経済成長はあり得ない」「国と企業一  
体の軍事拡大は許せない」などと訴えました。

**埼 玉 改憲反対署名、女性議員を増やそうと訴え 女性の市民連合**

**野党共闘をすすめる埼玉女性の市民連合**は12月20日、さいたま市のJR浦和駅東口  
で宣伝・署名行動を取り組み、リレートークで訴え、「憲法改悪を許さない全国署名」の  
協力を呼びかけました。

秋山淳子同市民連合共同代表は、「衆院選で野党が共闘を進めたことは間違いではな  
い、『野党共闘攻撃』こそ間違い。共闘をさらに進化させ国会に一人でも多く女性を送り  
出そう」と訴えました。日本共産党、社会民主党の代表もスピーチしました。

**東 京 憲法を守り生かし政治変えよう 19日国会前行動、街頭宣伝**

**戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会と9条改憲NO！全国市民アクシ  
ョン**は12月19日、衆議院第2議員会館前を中心会場に国会前行動を展開しました。

岸田政権が改憲、大軍拡へと突き進むもと開催された「改憲発議反対！辺野古新基地建

設反対！敵基地攻撃能力保有反対！いのちろと暮らしと営業を守れ！12・19 国会議員会館前行動」には、折からの寒風について 1000 人の市民が駆け付けました。

菱山南帆子さん（9 条壊すな！実行委員会）の主催者あいさつの後、吉田はるみ立憲民主党衆院議員、山添拓日本共産党参院議員、福島みずほ社民党参院議員があいさつしました。市民のリレートークでは、女性による女性のための相談会・柚木康子さん、沖縄のたかいに連帯する関東の会・辻忠男さん、改憲問題対策法律家 6 団体連絡会・吉田健一自由法曹団団長が発言。行動提起は憲法共同センター・米山敦子さんが行いました。

会場では、用意された「憲法改悪を許さない全国署名」用紙多数が参加者に配布されました。

**66 人が参加して合同宣伝、憲法改悪を許さない署名は 24 人分 新宿駅西口 戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会と 9 条改憲 NO！全国市民アクション**が 12 月 16 日、新宿駅西口で取り組まれました。行動には 66 人が参加し、「憲法改悪を許さない全国署名」は 24 人分が寄せられました。

この日、総選挙後初めての衆議院憲法審査会が開かれ、改憲派議員らが改憲 4 項目の議論の促進、審査会の定例日開催などを発言、「改憲ありき」の議論が展開された後での宣伝行動となりました。市民が次つぎ発言するリレートークでは、今必要なことは憲法改正の議論ではなく、コロナで打撃を受けているいのちと暮らしをどう守るか、そのために憲法を生かした政治が何より求められていることが強調されました。

次回の署名・宣伝行動は、2022 年 1 月 20 日(木)18 時から新宿駅西口で行われます。

**ウイメンズアクションで署名 17 人分、参加者は 35 人 有楽町マリオン前 戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会**は 12 月 14 日、**ウイメンズアクション**の宣伝・署名を東京・有楽町マリオン前で取り組みました。この日のアクション

では新調した横断幕「憲法変えてる場合じゃない！女性たちみんな、つながろう」が披露されました。アクションには 35 人が参加し、「憲法改悪を許さない全国署名」の訴えには 17 人が応え署名しました。

市民のスピーチとともに柚木道義立憲民主党衆院議員、田村貴昭日本共産党衆院議員、福島瑞穂社民党参院議員によるリレートークが行われました。

今回のウイメンズアクションは、2022 年 1 月 14 日(金)18 時から有楽町イトシア前で行われます。

### **長野** 黄色い装いで改憲の動きを警戒、ピースウオーク 諏訪市

長野県諏訪地方の**諏訪 9 条の輪**は 12 月 5 日、諏訪市にある「平和の塔」に集まり、集会后ピースウオークを取り組みました。行動には、呼びかけに応え、マフラーなど黄色いものを着用し 60 人が参加しました。

集会では、市民連合の代表者が総選挙での市民と野党の共同の発展について報告しました。毛利正道弁護士が憲法をめぐる情勢について発言、岸田首相の新たな改憲策動を批判し、来年の参院選で長野選挙区での市民と野党の共闘で勝利することが改憲阻止の力になると呼びかけました。長瀬由希子日本共産党県委員会書記長、遠藤真弓社民党岡谷市議があいさつ、篠原孝立憲民主党衆院議員がメッセージを寄せました。

参加者は、「守ろう憲法 9 条」「許すな 9 条改憲」などのプラカードを掲げてウオークをおこない市民にアピールしました。

### **新潟** 降雪下「9 条改憲は許さない」スタンディング 新潟市東区

**9 条改憲 NO！3000 万人署名推進東区の会**は新潟市東区内で 12 月 19 日、降雪のもと定例のスタンディング宣伝を行い、「9 条改憲は許さない」と市民や通行する自動車に向けて訴えました。

### **石川** 150 回目の「怒りの昼デモ」に 30 人 金沢市

**石川憲法会議と戦争する国づくりストップ！憲法を守り生かす石川県共同センター**は12月22日金沢市内で、改憲に反対し、憲法を生かす政治を求めて隔週水曜に実施し、通算150回目となる「怒りの昼デモ」を30人の参加で取り組みました。

デモ出発前の集会では、岸田首相の9条改憲前のめりと6兆円を超える軍事予算・敵基地攻撃能力の保有などの危険性が訴えられました。デモでは「平和憲法9条を守ろう！」の横断幕を先頭に「戦争させない」「9条壊すな」などのパネルを掲げアピール、「9条改憲許さない」「軍事費削ってコロナ対策にまわせ」などとコールしました。

**静岡** **戦争反対、立憲主義回復を訴え集会とデモ 静岡市でアクション**  
**戦争法廃止オールしずおかアクション**が呼びかけた「戦争法廃止、憲法を守ろうアクション」が12月19日、静岡市葵区で取り組まれました。

しずおかアクションの代表が「森友問題で岸田首相が事件にふたをして、安倍元首相にひれ伏した。敵基地攻撃能力保有はアメリカへの忖度だ。憲法違反、戦争に向かうことは許されない」と訴え、静岡大学有志の会の代表は、「今こそ立憲主義を取り戻そう」などとスピーチ、参加者が歌を合唱しました。集会の後、歌をうたいながら行進、市民にアピールしました。

**愛知** **300人が改憲NO！憲法生かせと集会・デモ 名古屋市中区**  
**憲法をくらしと政治にいかす 改憲NO！あいち総がかり行動実行委員会**は12月19日、名古屋市中区で集会・デモを行いました。300人が参加しました。

集会では主催者の基調報告に続いて、リレートークが行われました。来年から休学して環境問題に取り組む学生が、森友問題の真相究明を避けた「認諾」についての問題を弁護士が、労働者の暮らしの実態と政府・財界による分断攻撃、憲法をくらし・政治に生かそうと労働組合代表らが訴えました。

集会後参加者は「憲法変えるな」「気候危機待ったなし」「許すな権力私物化」などのボードを掲げて繁華街を行進しました。

**岐阜** **「憲法変えるな！政治を変えよう」と集会 岐阜総がかり**  
**岐阜総がかり行動**が12月19日、岐阜市で取り組まれました。参加した150人は「反戦平和」のボードを掲げ、「憲法が危ない！戦争する国にするな、命と暮らしを守ろう」と訴えました。

「もう黙っとれんアクション」や戦争させない1000人委員会、憲法共同センターの代表らがスピーチしました。

集会後、「憲法変えるな、政治を変えよう」などとコールし市内をデモ行進しました。

**京都** **240人が「憲法壊すな！」と河原町通りをデモ 京都市**  
**戦争をさせない1000人委員会京都連絡会、市民アクション@きょうと、京都憲法共同センター**が共同して実施する毎月恒例のデモ行進が、12月19日行われました。

デモ出発前の市役所前での街頭演説では、各団体の代表が連帯のあいさつやたたかいの決意を述べました。その中で憲法9条京都の会の寺内寿さんは、憲法審査会での与党や日本維新の会の改憲前のめりを批判、9条への自衛隊明記などの危険性を明らかにすることが大事で、改憲ノーと大軍拡予算反対、コロナ対策や暮らしに予算をまわせの声を一体にして広げよう、署名運動と野党共闘で安倍改憲を挫折させた経験も生かし、「憲法改悪を許さない全国署名」をかつてない規模で広げようと呼びかけました。

参加した240人は「憲法壊すな」「守れ！憲法9条」とアピールし、市役所から四条河原町までデモ行進しました。

**奈良** **軍事同盟強化と改憲、署名運動の重要性学習 奈良市で九条の会**  
**九条の会奈良と九条の会奈良県ネットワーク**は12月15日、奈良市で14回目の憲法講座を開催、160人が参加しました。

同憲法講座では九条の会事務局の渡辺治一橋大学名誉教授が講演しました。渡辺氏は、岸田政権が、安倍・菅政権の新自由主義、9条破壊と改憲・日米同盟強化、強権政治と民主主義破壊の政治を引き継ぐとともに、米バイデン政権のもとで対中国軍事路線・「台湾有事」への対応・日本の役割などの危険な強化をはかり、憲法改悪を呼号していることを解明。総選挙結果については、自民党政治に代わる野党共闘の発展があったが、新しい政治展望を有権者に伝えきれなかった一方で、新潟県での4勝2敗など数々の「共闘効果」が確認でき、確信にすること、改憲策動に対しては全国市民アクションが呼びかけた「憲法改悪を許さない全国署名」をひろげ、対話を進めることの重要性を訴えました。

## 大阪 「戦争あかん」「改憲やめて」とスタンディング・署名 府下各地

大阪の羽曳野総がかり行動実行委員会は12月17日、羽曳野市内の道の駅で宣伝・署名行動を取り組みました。行動には13人が参加、「憲法改悪を許さない全国署名」は12人から寄せられました。

「憲法改悪NO！改憲発議NO！ 平和憲法を守りましょう」の横断幕、「あなたの署名が平和を守る」「若者を再び戦争に送るな」などのプラスターを掲げ訴え、自作の憲法リーフは60部が配布されました。

大阪市西淀川区の戦争あかん！西淀川実行委員会は12月19日、同区の塚本駅前サンリバー商店街前で宣伝とスタンディングアピールを行いました。35人が参加しました。

「戦争あかん」「9条改憲NO！」「改憲やめて」などの横断幕やプラスターを掲げ、改憲反対のチラシ入りティッシュを配布してアピールしました。「ノーベル賞受賞者50人以上が軍事費削減を各国政府に求めている、今こそ『戦争あかん』の声を大きな世論にしよう（門谷充男実行委員長）などと訴えました。

大阪府の泉南市九条の会は12月19日、泉南市役所前の市役所南交差点で18人が参加してスタンディング宣伝を行いました。

「9条改憲NO！」「戦争法廃止」「なくそう核兵器」「平和でこそ商売繁盛」などの横断幕やプラカードを掲げアピールしました。

## 広島 結成15年のつどい 憲法の危機に新たな元気 女性9条の会

女性9条の会・ひろしまは12月19日、広島市内で「結成15年のつどい」を開催しました。つどいには103人が参加しました。

富樫めぐみ事務局長が、毎月9日の街頭宣伝、年4回のニュース発行、年1回の集いの開催などの活動を報告、シンガー・ソングライターの山上茂典さんが歌と憲法の話を披露しました。石口俊一弁護士が「戦後最大の危機！憲法9条をめぐる動き」の記念公園を行うなど多彩なプログラムとなりました。

講演で石口弁護士は、2022年の参院選が日本の未来を変える重要な選挙となることを強調し、改憲を阻止するための運動や学習に取り組もうと呼びかけました。参加者からは、「総選挙後うつうつしていたが、わかりやすい講演で元気が出た」などの感想も寄せられました。

## 高知 19日集会で改憲反対、署名推進を呼びかけ 高知アクション

高知憲法アクションは12月17日、高知市の中央公園北口で、安保法制廃止・憲法を守ろうとアピールする19日行動の集会を開きました。集会には50人が参加しました。

集会では、青木宏治同アクション共同代表が憲法審査会の動きについて触れ、「明文改憲の根拠も必要性もない、安保法制阻止運動で起こした幅広い市民の共同を思い起こし、声をあげよう」と訴え、山崎秀一同呼びかけ人が森友訴訟を「認諾」で終結させたことを批判、真相究明を求めました。事務局の谷英樹氏が、「憲法改悪を許さない全国署名」を進め、野党共闘で参院選に勝利しようと呼びかけました。特定秘密保護法をなくす市民の

会・高知の岡田健一郎さんも発言しました。

### **福岡** 戦争体験語り「憲法改悪を許さない署名」訴え 福岡市南区

福岡市南区で活動する憲法改悪阻止 3000 万署名南区連絡会は 12 月 17 日、西鉄大橋駅前「憲法改悪を許さない全国署名」行動を取り組みました。

同連絡会の別府正次事務局長は「憲法は将来に関わる問題」と若い世代の人々に訴えました。

市民が次つぎ署名に応じました。戦時中に米軍機から機銃掃射を受けたという 80 歳の男性は、「平和がいちばん、憲法を変えてはいけない」と実感込めて語り、75 歳の女性は「憲法はこころろ変えるものではない、憲法を擁護すべき政治家が変えようというのはおかしい」と話して署名しました。

### **佐賀** 憲法 9 条最高の人権保障 憲法講演会で学習 小城市

佐賀県小城市の小城 9 条の会は 12 月 17 日、市内で総会を開くとともに、憲法講演会を開催しました。講演会には 30 人が参加しました。

講演会では本多俊之弁護士が、「憲法第 9 条（憲法の安全保障規律）は最強・最高の人権保障」を講演。アメリカの核抑止力論への追従の危険性、自民党改憲案の危険な内容を明らかにし、日本国憲法こそ最強・最高の人権保障を備えた憲法であり、国民がわがものにすることが大事だと強調しました。

高橋是幸小城 9 条の会代表は、毎月のスタンディング宣伝の取り組みなどを報告、引き続き取り組むとともに、「憲法改悪を許さない全国署名」の推進を呼びかけました。

### **宮崎** 「9 条の力」語ろう 伊藤千尋さんの講演を学習 綾町

宮崎県綾町（人口 7000 人）のあや九条の会は 12 月 18 日、第 14 回学習会を開きました。総選挙後、自民・公明・維新などの改憲勢力が「戦争する国づくり」「改憲策動」で勢いづく中、憲法を守る運動をどう広げるか考えようと開かれたものです。

ジャーナリストの伊藤千尋氏の講演「憲法を活かす日本をつくる」（11 月・京都憲法集会での講演）の DVD を題材に意見交換しました。「改憲の危険性を強調するとともに、9 条がもつ『戦争させない力』を大いに語ろう」「日々の暮らしの中で『9 条改憲許さない』『憲法をいかそう』の声をひろげよう」と運動方向を確認しました。

### 参院選で改憲勢力に審判をと宣伝 都城市、延岡市

都城市では 12 月 19 日、戦争法廃止総がかり行動 in 都城の呼びかけで集会が開かれました。立憲民主党、日本共産党の市議会議員や代理ら 5 人があいさつしました。

集会では来年の参院選で自民、公明、維新の会などの改憲勢力に改憲ノーの意思を示そうと申し合わされました。

延岡市でも同日、市民らが溝口町のスーパー前で定例のスタンディング宣伝が行ないました。15 人が参加し、戦争法廃止、改憲許すなと訴えました。